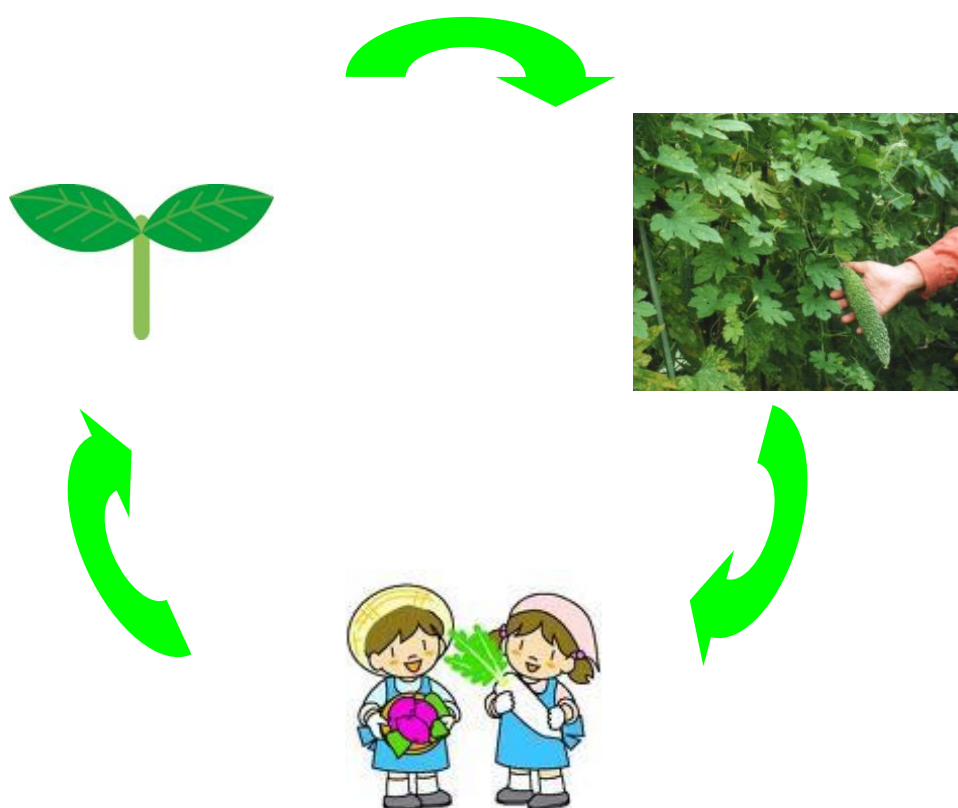


— 生ごみゼロの暮らしを求めて —

はじめよう！ダンボールコンポスト

家庭でできる生ごみ循環生活



発行：青梅・生ごみぐるぐるネット

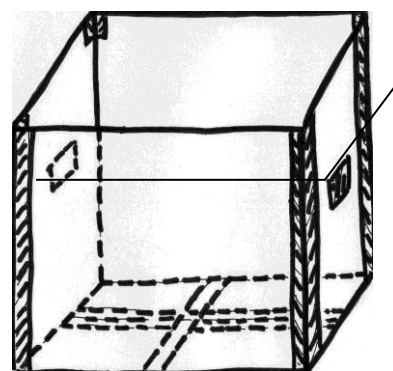
1. ダンボールコンポスト・準備をするもの (4人家族の目安)



- ダンボール箱 (りんご箱のようにしっかりしたもの)
- ピートモス 15ℓ
- もみ殻くん炭 10ℓ
(ピートモスとくん炭は3:2の割合)
- 新聞紙 朝刊2~3日分
- ガムテープ (布ではなく紙質のもの)
- コンポストの台 屋外はレンガ・ブロック等2個
室内はラップの芯・牛乳パックなど
- 温度計 (ぜひご用意ください。)
- コンポストキャップ
- 新しいゴムひも(二重にかけます。)
- 攪拌用具(古いしゃもじやゴム手袋)

2. ダンボールコンポストの作り方

ダンボールを右の図のようにふたを立ち上げ、角と底部に紙テープを貼り補強をして下さい。取っ手のところも穴があいていると、虫が侵入しますので、外側と内側からテープを貼って下さい。
つぎに底部の広さに合わせて折りたたんだ新聞紙2日~3日分を水分吸収のために敷いて下さい。床材投入後、キャップをかぶせゴムひもを二重にして虫が入らないようにします。



3. さあ、生ごみを投入しましょう!

①床材を作ります。ピートモスとくん炭を入れてください。(箱の大きさで調整してください。)

②ピートモスとくん炭をまんべんなく混ぜてください。くん炭が舞うので霧吹きをしながらやるとよいです。

③投入する生ごみは700g~1kgが適量です。生ごみを小さく切ると分解が早くなります。



④1日目。半分か片隅に穴を掘り、生ごみを入れてください。

⑤よく床材をかぶせてください。

⑥虫よけのためにコンポストキャップをかぶせ、ゴムひもをしっかりとかけてください。



⑦通気をよくするため、室内なら壁や床から5cmぐらい離して置きます。屋外なら雨に濡れない所で同じように風通しのよい場所に置きましょう。



⑧2日目は反対側に入れましょう。3日目以降は空いているところに入れてください。2、3日後形はまだ残っていますが徐々に分解していきます。



⑨床材が慣れて温度が上がるまでに夏場は1週間、冬場は2週間ほどかかります。白カビが出たら慣れてきたしるし。1日1回は攪拌してください。



4. ダンボールコンポスト Q&A

Q. 投入しないほうがいいものはありますか？

落ち葉や生花はやめて下さい。分解が遅くダンボールがすぐに一杯になってしまいます。タバコのすい殻プラスチック類など厳禁です。水分もそれなりに必要なもので、水切りはそれほどしなくても大丈夫です。

入れてよいもの

調理残さ、野菜くず、食べ残し、魚の内臓・小骨、卵の殻、果物の皮、廃油（食用）茶殻（よくほぐしてから）

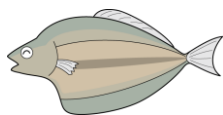


分解の遅いもの

タマネギの皮、鳥の骨、カボチャ・梅干の種、魚の太い骨、トウモロコシの芯、竹の子の皮、貝殻

Q. においが気になりますか？

動物性タンパク質は分解が早く温度がよく上がりますが、逆にアンモニア臭も発生させます。魚のあらなどは一度熱湯をかけ回してから入れるか、それでも気になるときは消臭効果のあるくん炭を足してみてください。また、コーヒーかすも消臭効果があります。



Q. 温度が上がらないのですがどうしたらいいですか？

10℃くらいだと分解はすすみません。30℃以上になると分解が早まり、虫も発生しづらくなります。生ごみを投入する時にヌカをひとつかみふりかけて下さい。あと、廃油（食用）を200ccぐらいかけても温度が上がります。

冬場は室内に置くか、陽によく当てて下さい。温度が上がりホカホカしてきます。それでも上がらなければ、気温が下がる夜間はビニールで囲ったり毛布をかぶせて下さい。しかし、そのままかぶせていますと水分が内側についてビショビショになりますので昼間は外して下さい。（冬場の管理の仕方）

適度な湿気を保ちつつ、1日1回空気を入れてよくかきまぜて下さい。

Q. 虫が発生しました。どうすればいいですか？

原因は…①コンポストキャップはかぶせていますか？

②ゴムひもをかけていますか？冬場でも虫が飛んでいたりしますのでキャップはかぶせておいて下さい。

③生ごみを放置していませんか？

置いている間に卵を産みつけていたかもしれません。

虫が寄ってくるのは、腐りかけの生ごみだからです。

ダンボールの中に入れるのは鮮度のよいものにして下さい。

虫が発生したら温度を2日続けて上げて下さい。それでも死なない時は、ビニール袋に一度移し、口をしっかりとめて陽にあてて窒息させて下さい。



5. 熟成させましょう

生ごみの投入は3ヶ月位が目安です。(3ヶ月で30kg以上投入できます。)この頃になるとダンボールの底が抜けたり、内側がくずれたりしてきます。また、床材の分解力が落ちてきて温度が上がらなくなり、べたついてきます。このようになってきたら、生ごみの投入をやめて熟成に入りましょう。生ごみの堆肥化を続けたい時はもう一つ新しいダンボールコンポストを準備して下さい。投入をやめたコンポストは、10日に1度500ml位の水分を補給しよくかき混ぜてください。その後も分解が進み、黒々とした堆肥になります。こうして1ヶ月以上熟成させてから使います。また、すぐに使わない場合はビニール袋に入れて保管して下さい。



6. 庭や畑での使い方

庭や畑で使う時は、即効性が求められる肥料としてではなく土づくりをするための元肥としてお使い下さい。そのままの状態、作物に必要な肥料と一緒に使えます。

7. プランターや植木での使い方

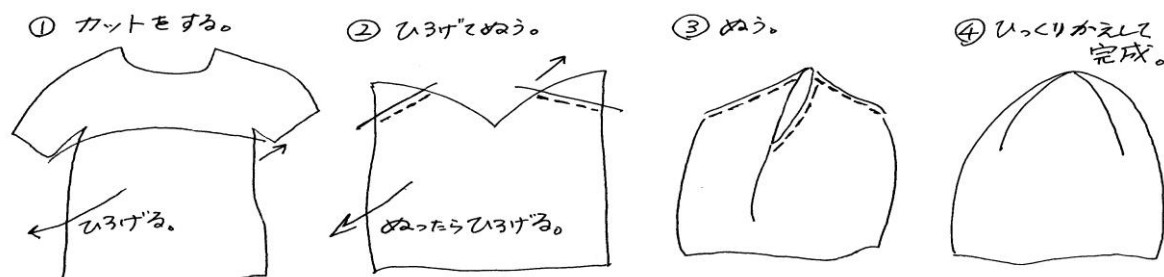
プランターや植木で使う場合はふるいにかけて、未分解物を取り出してから使ったほうが安心かもしれません。排水性と通気性のよい赤玉と組み合わせてお使い下さい。(赤玉2～3に対して堆肥1程度)

生ごみを約30kg投入し熟成させた堆肥



土のようなにおいがして、にぎって手のひらにつくくらいが良い状態です。

コンポストキャップの作り方



くん炭・ピートモスの販売店

★男性用Tシャツなどを再利用しましょう。

	もみ殻くん炭	ピートモス
カ イ ン ズ ホ ー ム	3ℓ 約148円	3ℓ 約148円
	12ℓ 約398円	18ℓ 約498円
ヤ サ カ	5ℓ 約270円	5ℓ 約270円
	10ℓ 約498円	10ℓ 約498円
ム ラ ウ チ ホ ビ ー	12ℓ 約530円	2ℓ 約170円
	—	6ℓ 約400円

(平成24年5月現在)

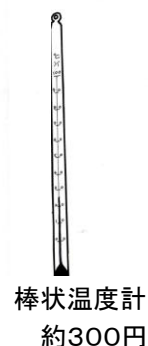
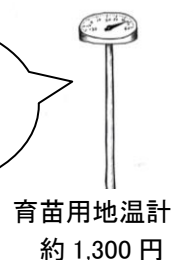
ダンボールコンポストの参考資料

『堆肥づくりのススメ～コンポストのある循環生活』
定価700円

発行：NPO法人 循環生活研究所

(TEL: 092-405-5217 / FAX: 092-405-5951)

温度計もぜひ
用意して！



* この説明書を営業等の目的で複写・転載することはお断りいたします。